

工事がわら版

国道22号電線共同溝PFI事業の工事に関する情報です。

【事業者】

大林・大日・東建
コンソーシアム

平素は道路等行政の推進に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

国道22号(一宮市島崎一丁目～一宮市緑五丁目)において、電線共同溝及び歩道整備工事を開始しました。

今月も引き続き構造物取壊しと、特殊部の設置工事を行っています。



電線共同溝工事の目的

「電線共同溝」とは、電線の設置及び管理を行う2以上の者の電線を収容するため、道路管理者が道路の地下に設ける施設であり、道路上にある電柱や電力線、通信線を地下に収容することにより、快適な歩行空間の確保、景観の向上を図ることを目的としています。

また、道路の掘り返し工事がなくなるので、車線を規制されることもありません。

車の交通渋滞も緩和され安全でスムーズな交通環境が生まれます。

before



after



電線共同溝=無電柱化は、

「景観・観光」、「安全・快適」、「防災」の観点から推進しています。



景観・観光

景観の阻害要因となる電柱・電線をなくし、良好な景観を形成します。

安全・快適

無電柱化により歩道の有効幅員を広げることで、通行空間の安全性・快適性を確保します。

防災

大規模災害(地震、竜巻、台風等)が起きた際に、電柱等が倒壊することによる道路の寸断を防止します。

今後の工事予定

工種	8月	9月	10月
構造物取壊し工	←→		
電線共同溝 特殊部	←→		
電線共同溝 管路部		←→	